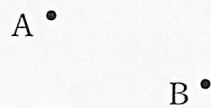


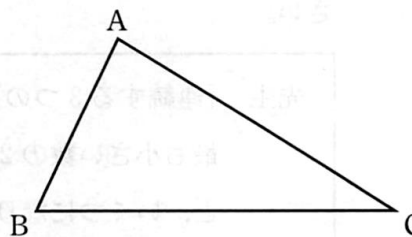
【栃木県立入試問題】

右の図のように、2点A、Bがある。点Aを中心として点Bを反時計回りに 90° 回転させた点Pを作図によって求めなさい。ただし、作図には定規とコンパスを使い、また、作図に用いた線は消さないこと。



令和7年度

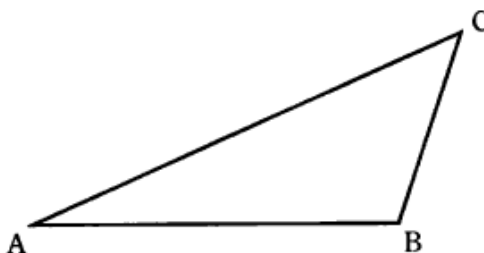
右の図の $\triangle ABC$ において、辺ABと辺ACからの距離が等しくなる点のうち、辺BC上にある点Pを作図によって求めなさい。ただし、作図には定規とコンパスを使い、また、作図に用いた線は消さないこと。



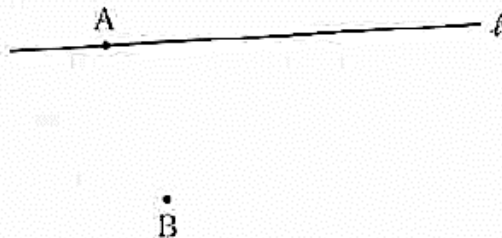
令和6年度

1 右の図の $\triangle ABC$ において、辺AC上にあり、 $\angle ABP = 30^\circ$ となる点Pを作図によって求めなさい。ただし、作図には定規とコンパスを使い、また、作図に用いた線は消さないこと。

令和5年度



右の図のように、直線 ℓ 上の点A、 ℓ 上にない点Bがある。このとき、下の【条件】をともに満たす点Pを作図によって求めなさい。ただし、作図には定規とコンパスを使い、また、作図に用いた線は消さないこと。



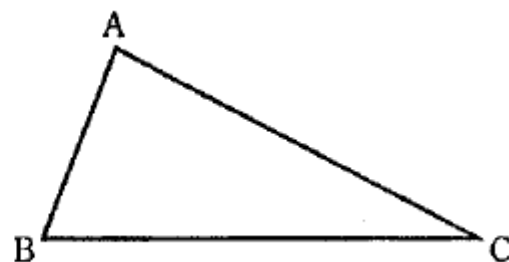
令和4年度

【条件】

- ・点Pは直線 ℓ 上にある。
- ・ $AP = BP$ である。

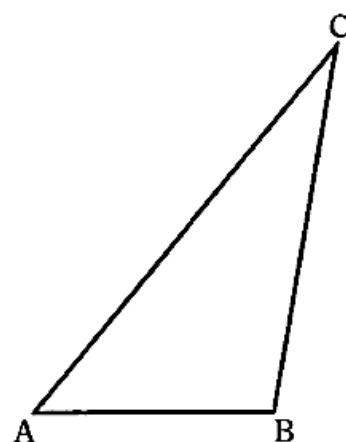
右の図の $\triangle ABC$ において、頂点 B を通り $\triangle ABC$ の面積を 2 等分する直線と辺 AC との交点を P とする。このとき、点 P を作図によって求めなさい。ただし、作図には定規とコンパスを使い、また、作図に用いた線は消さないこと。

令和 3 年度



右の図のような $\angle A = 50^\circ$, $\angle B = 100^\circ$, $\angle C = 30^\circ$ の $\triangle ABC$ がある。この三角形を点 A を中心として時計回りに 25° 回転させる。この回転により点 C が移動した点を P とするとき、点 P を作図によって求めなさい。ただし、作図には定規とコンパスを使い、また、作図に用いた線は消さないこと。

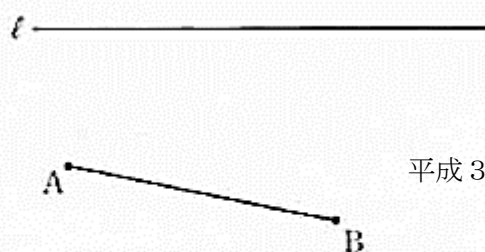
令和 2 年度



右の図のように、直線 ℓ と線分 AB がある。このとき、下の【条件】をともに満たす点 C を作図によって求めなさい。ただし、作図には定規とコンパスを使い、また、作図に用いた線は消さないこと。

【条件】

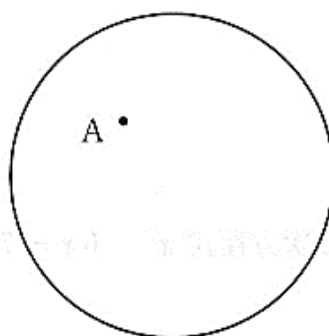
- ・点 C は直線 ℓ 上にある。
- ・ $\triangle ABC$ は、辺 AC を斜辺とする直角三角形となる。



平成 31 年度

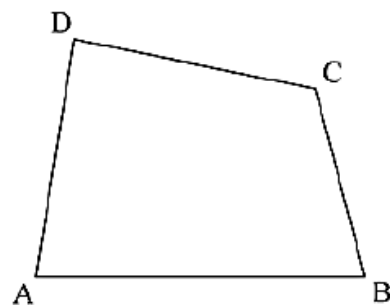
右の図のように、円の内部に点 A がある。円周上にある点のうち、点 A との距離が最も長い点 P を作図によって求めなさい。ただし、作図には定規とコンパスを使い、また、作図に用いた線は消さないこと。

平成 30 年度



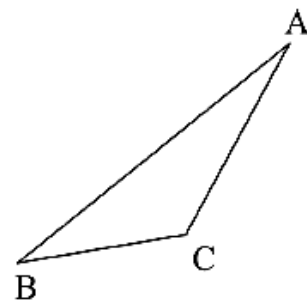
右の図の四角形 ABCD において、2 辺 AB, AD からの距離が等しく、辺 CD 上にある点 P を作図によって求めなさい。ただし、作図には定規とコンパスを使い、また、作図に用いた線は消さないこと。

平成 29 年度



右の図のような $\triangle ABC$ がある。辺 BC を底辺としたときの高さを表す線分 AP を、作図によって求めなさい。ただし、作図には定規とコンパスを使い、また、作図に用いた線は消さないこと。

平成 28 年度



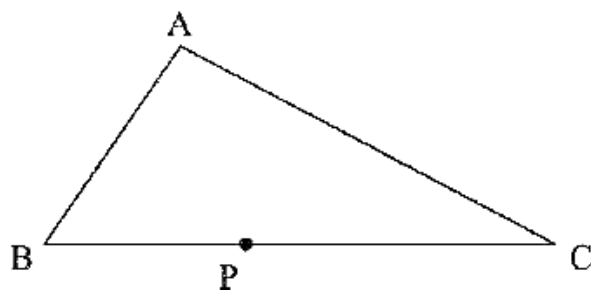
右の図のように、2 点 O, A がある。点 O を中心として点 A を時計回りに 90° 回転させた点 B を作図によって求めなさい。ただし、作図には定規とコンパスを使い、また、作図に用いた線は消さないこと。

平成 27 年度



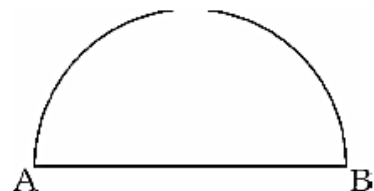
右の図のような $\triangle ABC$ と辺 BC 上の点 P がある。P で BC に接し、辺 AC 上に中心がある円の中心 O を作図によって求めなさい。ただし、作図には定規とコンパスを使い、また、作図に用いた線は消さないこと。

平成 26 年度



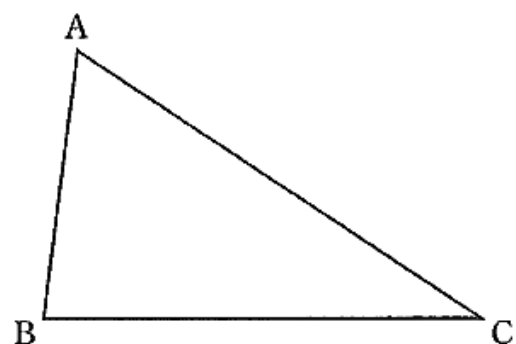
右の図のような，線分 AB を直径とする半円がある。弧 AB 上にあり， $\angle BAC = 45^\circ$ となる点 C を作図によって求めなさい。ただし，作図には定規とコンパスを使い，また，作図に用いた線は消さないこと。

平成 25 年度



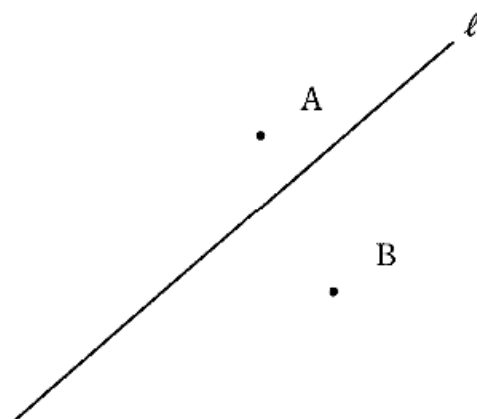
右の図のような $\triangle ABC$ がある。2 辺 AB ， BC に接し， AC 上に中心がある円の中心 O を作図によって求めなさい。ただし，作図には定規とコンパスを使い，また，作図に用いた線は消さないこと。

平成 24 年度



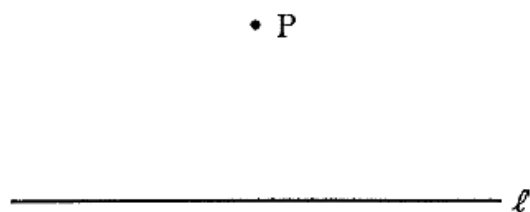
右の図のような，直線 ℓ と 2 点 A ， B がある。 A ， B を通る円のうち，中心が ℓ 上にある円の中心 O を作図によって求めなさい。ただし，作図には定規とコンパスを使い，また，作図に用いた線は消さないこと。

平成 23 年度



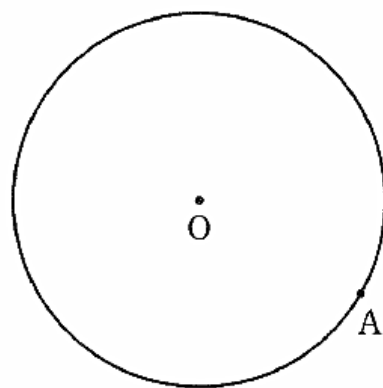
右の図のように，直線 ℓ と ℓ 上にない点 P がある。 P を通る ℓ の垂線を作図しなさい。ただし，作図には定規とコンパスを使い，また，作図に用いた線は消さないこと。

平成 22 年度



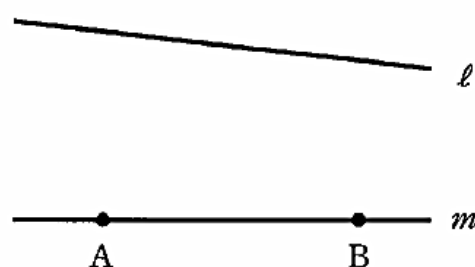
右の図の円 O において、周上の点 A を通る円 O の接線を作図しなさい。ただし、作図には定規とコンパスを使い、また、作図に用いた線は消さないこと。

平成 21 年度

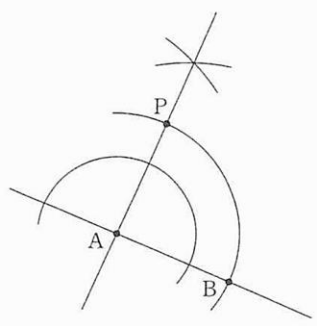


右の図のような、2 直線 ℓ , m があり、直線 m 上に 2 点 A , B がある。直線 ℓ 上にあり、 $\angle BAC = 60^\circ$ となる点 C を作図によって求めなさい。ただし、作図には定規とコンパスを使い、また、作図に用いた線は消さないこと。

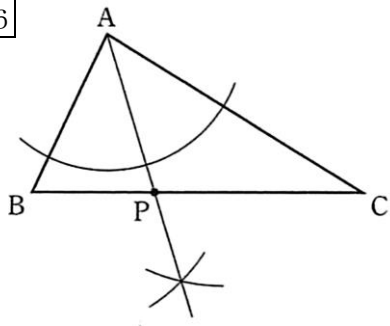
平成 20 年度



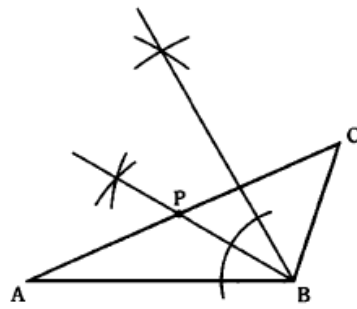
R 7



R 6

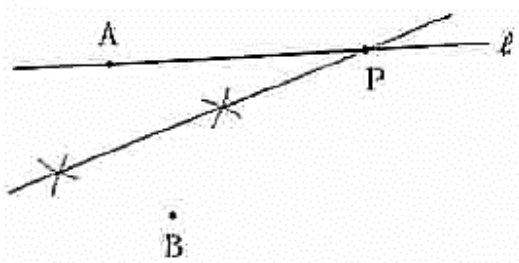


R 5

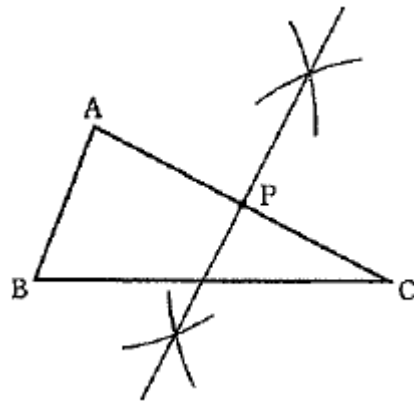


R 4

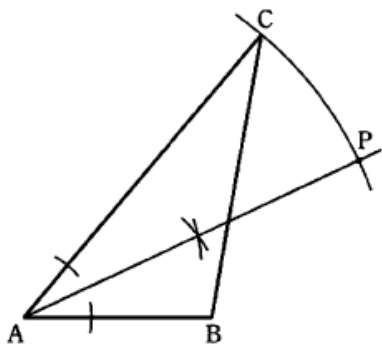
1. $AP = BP$ といふことは、点 A, B から等しい距離に点 P がある。したがって、 AB の垂直二等分線と ℓ の交点が点 P である。



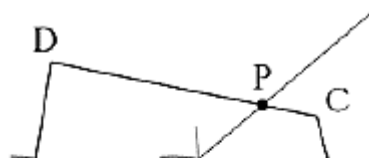
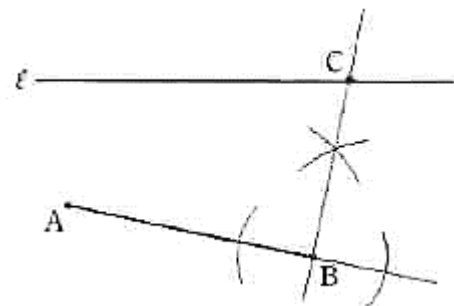
R 3



R 2



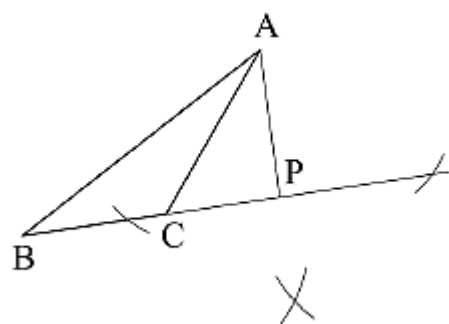
H 3 1



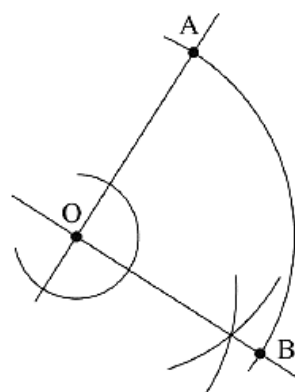
H 3 0

H 2 9

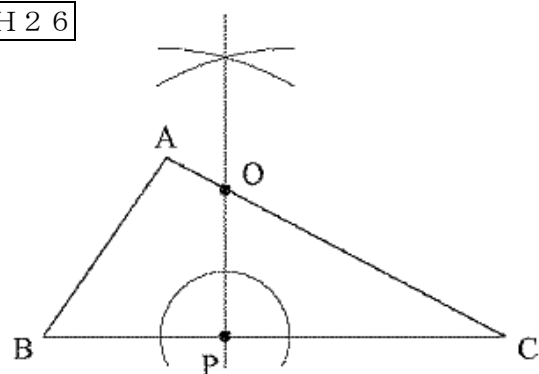
H 2 8



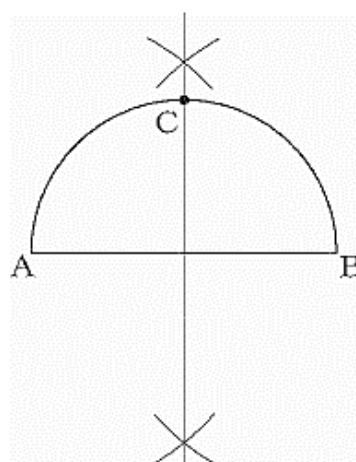
H 2 7



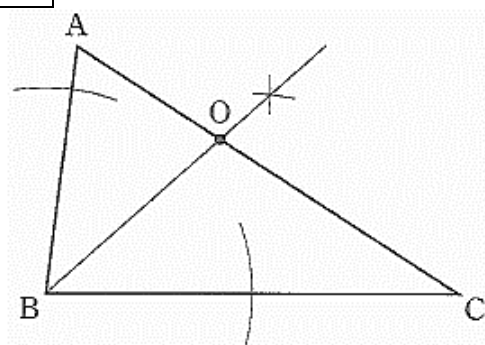
H 2 6



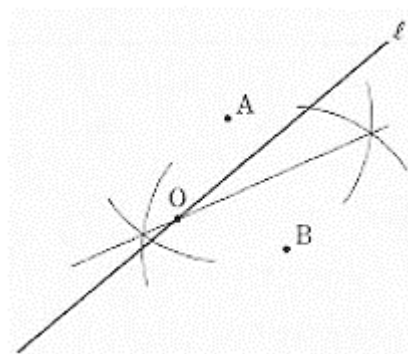
H 2 5



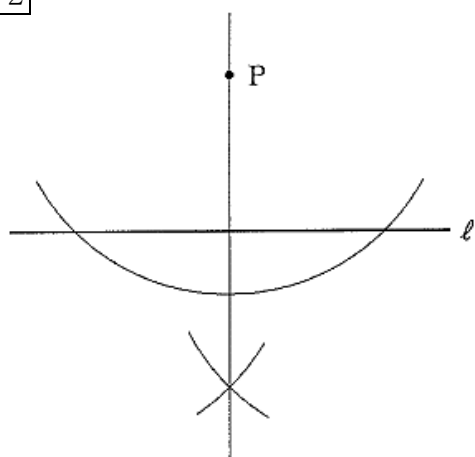
H 2 4



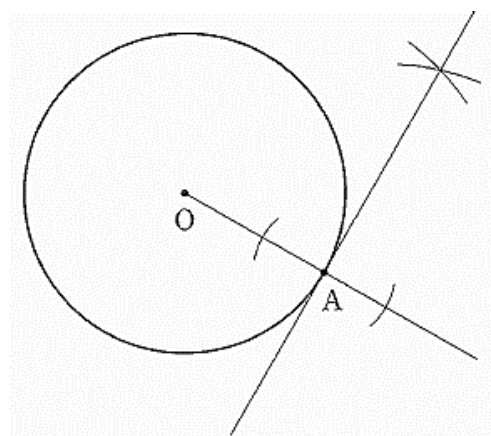
H 2 3



H 2 2



H 2 1



H 2 0

